

当社の平成15年度第3四半期（平成15年4月1日～平成15年12月31日）における業績について、お知らせ致します。

日本経済は、株価が上向き、政府発表の経済成長率では実質プラス成長を続けていると言われておりますが、日本商工会議所調査の12月業況DI値はむしろ悪化していると報じられております。また、雇用情勢もいまだに改善されず、年末に政府が発表した年金改革や税制改革を考えると、日本経済が本格的な回復軌道にのったとは言い難い状態でもあります。

医薬品業界においては、医療向けOTC向け企業共にグローバル化と平成17年薬事法改正に対してM&A、業務提携の動きが本格化している一方、配置医薬品業界では配置薬生産の低迷や規制緩和による競争激化が一段と進む事が予想されます。

そのため、当社ではこの大変厳しい経営環境をのり越えるために、第4四半期～平成16年度への橋渡しを行う新たな経営の重点課題として次の5項目を打ち出し、企業体の維持に努めていく所存です。

- (1) 新製品開発力の強化
- (2) 配置販売のビジネスモデル改革の実践
- (3) 新しい流通の開拓
- (4) 製造コストの低減
- (5) ラインサポートシステムの実践

このような状況にあって、当社は積極的な営業活動の展開と生産効率の向上に努めましたが、当第3四半期の業績としては、売上高が78億45百万円（前年同期比93.6%）の減収となり、経常損益は20百万円の損失となりました。加えて、当社が加入しておりました日本製薬業厚生年金基金の解散に伴う負担損失として、68百万円を計上したため、当期損益は160百万円の損失となりました。

#### H15年度第3四半期報告(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

	H14年度 (4-12月実績)	H15年度 (4-12月実績)	対前年比 (%)	H15年度	
				(4-12月計画)	(通期計画)
売上高 百万円	8,377	7,845	93.6%	8,330	11,216
営業利益 百万円	229	-8	-	306	489
経常利益 百万円	153	-20	-	306	423
当期純利益 百万円	192	-160	-		
資本金 百万円	1,395	1,395	100.0%		
発行済株式総数 千株	10,380	10,380	100.0%		
純資産額 百万円	5,771	5,567	96.5%		
総資産額 百万円	13,712	15,275	111.4%		
1株当り純資産額 円	555.98	536.36	96.5%		
1株当り当期純損益額 円	18.51	-15.45	-		
自己資本比率 %	42.08	36.44	86.6%		
自己資本利益率 %	26.51	-0.35	-		
従業員数 人	502	495	98.6%		

参考) 当期から交換薬は返品制度に変更いたしております。

この基準による平成14年度の売上高は78億55百万円となります。

平成14年度売上高 8,377百万円

交換薬売上高 522百万円

変更した会計基準による売上高 7,855百万円

以上のように、前年度業績を今年度基準で算出したものとの比較では、減収減益となります。

**トピックス**

第3四半期における当社の大きなイベントについてご紹介致します。

**1) 滑川工場（ドリンク専用工場）の竣工式**

液剤2億本の生産体制を確立するためのドリンク専用工場が完成し、その竣工式を10月26日におこないました。竣工式当日は、関係者だけでなく地域住民の皆様にも工場の見学会や懇親会に多数ご参加頂き、成功裡に終了する事ができました。（ご参加者数：約800名余）



= 懇親会場（飲食コーナー） =



= 懇親会場（遊楽コーナー） =



= 懇親会場（体感コーナー） =



= 懇親会場（飲食コーナー） =



= 懇親会場（遊楽コーナー） =

**2) 癒楽甘・春々堂のオープン**

配置販売業における新しいビジネスモデルを構築するための一環として、広貴堂メディフーズ（広貴堂の子会社）を設立し、和漢の素材を使ったサプリメントや食による生活習慣病予防のコンセプトをベースに、消費者に満足していただけるビジネスモデルを構築していくためのアンテナ・ショップとして、富山駅前CIC店5階に「癒楽甘・春々堂」を11月30日にオープンさせました。



= ハーブ体験コーナー =



= 健康食品等の物販コーナー =



= 飲食提供コーナー =

～以上～